

# 祝辭

能樂ハ曩ニ池内信嘉君ノ創刊スル雜誌ニシテ爾來十餘星霜其論說ニ於テ常ニ遠大ナル抱負ト深厚ナル希望トヲ叙述シ以テ斯道ニ貢獻スル所少カラス是レ夙ニ吾人ノ認ムル所其經歷ヤ尙フヘク其功勞ヤ多トスヘキナリ

今ヤ坂元三郎君此事業ヲ繼承シ將ニ其蘊蓄ヲ披キ其所信ヲ吐カンガ爲メ之ガ經營ノ任ニ當ラントス

顧フニ此光輝アル同誌ハ自今以後更ニ一層ノ精彩ヲ加フヘキハ吾人ノ深ク信ジテ疑ハザル所ナリ望ムラクハ坂元君ノ益奮勵其事ニ當リ以テ邦樂神髓ノ發揮ニ努メ最モ完全ナル斯道ノ好雜誌タラシメン事ヲ聊カ一言シテ祝意ヲ表ス

大正三年十月一日

侯爵 蜂須賀茂韶

# 祝詞

雪鳥、坂元文學士ハ盲蛇的能評家ヲ以テ自ラ居ルノ士ニシテ、快刀亂麻ヲ斷ツガ如キ評言ヲ下シ數次斯界ノ人ノ心膽ヲ寒カラシメタリ。予ヤ氏ノ能評ニ就キ徹頭徹尾賛成スルモノニ非サルモ亦以テ斯界ノ珍タルヲ認ムルコト久シ。然ルニ今ヤ氏ハ雜誌「能樂」ヲ繼承シ獨力經營セントス、能樂ノ如キ高尚優美ナル藝術鼓吹ノ重責アル雜誌ノ經營者ハ人格學識兼備ノ士ニアラサレバ能クセザル所ニシテ今ヤ最モ其要求切ナル時ニ膺リ氏ノ如キ學殖識見アル經營者ヲ得タルハ斯道ノ爲メ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ。自今藝術上ノ經驗ヲ重ヌルト共ニ益、縱横ノ機智ヲ發揮セハ、必スヤ誌面頓ニ生々ノ氣ヲ加フルモノアラン、予ハ曠目シテ是ヲ今後ニ俟ツ。

大正三年十月一日

古市公威